

未来を拓く力をはぐくむ 学校教育の充実を目指して



「ゆかりのまち」提携市

茅ヶ崎市教育委員会 教育長 竹内 清 氏

教育随想



令和4年9月1日
9月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
茅ヶ崎市教育委員会 教育長 竹内 清 氏	
この人に聞く……………	2
小山矢 七代目 矢師 小山 泰平氏	
羅 針 盤……………	2
英語科指導員 笥 真由美	
ふれあい……………	3
男川小学校 教諭 蟹江 陽平	
特 集……………	4
岡崎の魅力を子供たちへ	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
第1回 愛鳥集会(昭和53年)	
この本を……………	8

本市では「学びあい 育ちあい 支えあう 茅ヶ崎の教育を創造する」豊かな人間性と自律性をはぐくむ」を基本理念に掲げた今期の教育基本計画(令和三～十二年度)において、全ての子どもたちに「未来を拓く力」をはぐくむため、学校教育と社会教育のより一層の連携を図っているところだ。

現在、学校教育においては、複雑化・多様化するいじめ問題をはじめとする、子どもを取りまく様々な課題への対応として、学校とスクールソーシャルワーカーや教育委員会所属の弁護士有資格職員とが積極的に連携し、事案の解決等に向けた取組に努めています。また、予測困難な未来を生きる子どもたちが、自ら主体性を発揮しながら、様々な課題に

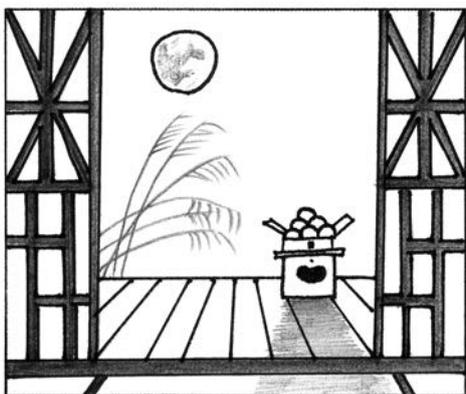
立ち向かう力を身に付けていくためには、学校や地域の大人がこれまでの以上に力を合わせて子どもたちの学びの環境を整えることが大切となることから、コミュニティ・スクール の設置を段階的に進め、地域とともにある学校を目指しているところ です。

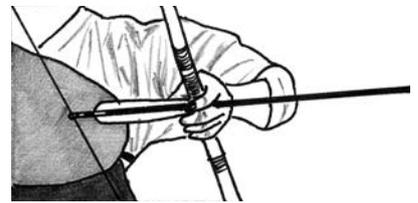
併せて社会教育においては、七月に開館した茅ヶ崎市博物館が、子どもたちの新たな郷土学習の場として 学校教育の充実につながることを期待できます。

大岡越前公を縁として「ゆかりのまち」となった本市と岡崎市との、大岡越前祭に併せて行われる産業フェア等を通じた交流については、現在、コロナ禍で見合せている状況ですが、これからはGIGAス

クール構想で配備されたタブレット端末をはじめとするICT環境により、両市子どもたちがリアルタイムに互いの地域の魅力を伝え合ったり、将来的には両市の歴史と文化の接点を生かした企画など、新たな取組等を通して、益々、両市の交流が深まることを願っています。

(たけうち きよし)





竹矢にかける思い

小山矢 七代目

矢師 小山 泰平氏

創業明治三年、矢の製造会社「小山矢」の七代目。矢の製造に取り組み会社は年々減っており、今では全国でも数社ほどしか残っていない。その中でも竹矢の製造を行っているのは、同社のみである。店舗の隣には、試射場もあり、幅広い年齢層の人々が「小山矢」の矢を求めて、全国各地から訪れている。

— どのような矢を作っていますか —
主にアルミのシャフトを使った矢を製造しています。アルミは、均一性が高く扱いやすいうえ、製造の工程も少ないので、価格を抑えて販売できます。そのため、中高生などの若い人達の需要も多く、売上の大半を担っています。最近では、お客さ

んのニーズに合わせて、シャフトや羽根の色を選ぶようにしました。インターネットでもカスタマイズ注文ができるように準備しています。

同時に、竹矢の製造にも力を入れています。竹矢は細やかな製造工程が多く、熟練の技を必要とします。一本の矢を作るのにとっても時間がかかるため、価格も高くなってしまいます。需要も少なく、多くは売れないので、竹矢の売上は、わずかです。それでも、うちには欠かせないものだと思います。

— 竹矢を作る理由は何ですか —

矢作りの基本は、竹にあるからです。竹矢は、一本一本異なる自然の竹に力を加え、まっすぐにして作ります。その工程の、矯める、削る、塗るなどの技術は、一朝一夕では身に付きません。しかし、そこに矢作りの基本が詰まっています。それだけに、是が非でも絶やしてはいけません。技術だと思っています。

それから、神事で必要とされるからです。熱田神宮の歩射神事には、毎年うちの矢を納めています。伊勢神宮の式年遷宮のときもお手伝いしました。さらに、天皇盃(全日本大会)などのハイレベルな大会は、竹弓矢矢で行われます。弓道は「真善美」を大切にしており、ただ的に当てることだけを目的としていません。所作や道具の扱い方も分かっている必要があるので。そういう意味で、有段者の方が竹矢を求められます。弓道では、四回矢を引くので、四

本の矢を同じ太さや張りにそろえないといけない。それには非常に技術がいられます。竹矢のよさが分かるお客さんに「この前の竹矢、抜群だったよ」と言ってもらえるのが、矢師にとって最高の喜びです。

— 今後やりたいことは何ですか —

まずは、七代目として現代のニーズに合ったよりよい矢を作り、「小山矢」を存続発展させることです。そのうえで、他の人には作れない竹矢を作り続け、後継者を育てたいです。

若いころは、「採算が取れないから、竹矢の製造はやめた方がいい」と言っていて、父親とよく喧嘩をしたものです。ですが、今はそうは思いません。それは、求めてくれる方がいるからです。そして、一本の竹矢を作るためには、自分だけでなく、竹を切る切子さんや羽根を加工する職人さんなど、多くの人が関わっています。その人たちの仕事すべてに伝統と技術が存在しています。自分が商売できるのは自分だけの力ではなく、「数珠繋ぎ」つまり、お互いが支え合いながら伝統と技術を守っているからだとして強く感じるので。伝統の重みを感じるからこそ、これからも矢師として、文化の伝承に挑戦し続けていきたいです。



氏名 こやま たいへい
生年月日 昭和五十五年
六月十三日
住所 岡崎市福岡町



英語科の授業における楽しみとは

英語科指導員 寛 真由美

英語科の授業では、言語活動を通して、コミュニケーションを図る力を育成することが求められている。そのために、教師はまず、子供が安心して英語を発言することができるように聞き手の姿勢を育てたい。次に、日本語で文法構造を教え込むのではなく、会話のやり取りの中で、子供が正しい表現に気付き、自ら修正できるように支援したい。

A教諭は、中学三年生に英語で旅行計画を立てる授業を行った。A教諭が「I have been to America, the U.K., Belgium…」と実際に訪れた国を話し始めると「Really?」と生徒たちは自然なリアクションを見せた。A教諭はOKサインを送り、反応したことを価値付けた。普段の授業から話し手の発言を受け止める聞き手の姿勢を育てることがわかる。次にペアでの会話活動が始まった。



一休み、一進み

男川小学校

教諭 蟹江 陽平

「一休み」本校にはそう名付けられた適応教室がある。Aさんは、五年生の多くの時間を「一休み」で過ごした。六年生になり、私はAさんの担任になった。卒業式には参加してほしい。そのために、少しずつ教室で過ごす時間を増やし、卒業式には参加できるようにしたいという目標を私自身も持つこととした。

まずはAさんとの関係を作ろうと、空き時間に「一休み」に行つてゲームをしたり、下校に付き添つたりした。一緒に過ごす時間が増えるにつれ、Aさんは「先生、あの公園までついて来て」「ここまで来たなら家まで来てよ」といたずらっ子のような口調で私と会話するようになった。次第にAさんは、「蟹江先生の授業なら行けるかも」と、少しずつ教室に向かうようになった。ようやく見えてきたつながり。そのつながりを何とか保ちたいと願い、夏休みには、Aさんを学校へ誘つて、バドミ

ントンやキャッチボールをした。

九月の下旬、Aさんは一日五時間を教室で過ごすようになった。もう大丈夫。すべてが順調だと思つた。

十月のある日、六年生になって初めてAさんが休んだ。家でトラブルがあつたらしい。何があつたのか、とにかく話したかった。だが「先生には絶対に言わないで」とAさんは私に話すのを頑なに拒んだらしい。

次の日からAさんは、再び「一休み」で多くの時間を過ごすようになった。「一休み」にいるAさんの表情は、教室よりも穏やかだ。無理をさせたのだろうか、これまでの自分の関わり方は間違ひだったのだろうか。戸惑いは消えなかつたが、それから「一休み」に行き、下校に付き添つた。私にできることはそれしかなかつた。「一休み」で勉強やゲームをし、「次の時間どうする」「やめとく」「そうか」そんなやりとりをする日々が続いた。

大きな進展もなく、卒業式を迎えた。Aさんはこわばつた顔をしてきたが、無事、式に参加することができた。「卒業おめでとう」と声をかけると、Aさんは「明日も学校に来ていい」と聞いてきた。予想外の言葉に驚いたが「いいよ」と答えると、Aさんは念押しするように「本当に来るからね」と笑つた。

翌日、言葉通りAさんはやつて来た。何をするわけでもなく、二人で校内を歩き、「一休み」で話をし、お世話になつた先生方を巡つてお礼の

言葉を伝えた。そして、帰り道、私はいつものように家まで付き添つた。玄関前で「がんばれよ」と声をかけると、Aさんは、私を見て大きくうなずき、「さようなら」と言つて足早に家に入つていった。目は潤み、声は震えていた。きっと寂しさや不安もあつたはずだ。しかし、私は、新しい生活に向かおうとするAさんの強い決意を感じる事ができた。

この一年、Aさんが、どれだけ前に進めたのか分からない。何とかしたいと思う一心で、急ぎ過ぎた自分がいた。特に、十月のあの日の理由は、最後まで聞けずじまいで、今でも私の心の中に宿題として残っている。一歩進んで一休みし、また一歩進む。Aさんに寄り添つた日々が教えてくれたものを糧にして、いつかこの宿題を解くことができるよう進んでいきたい。



生徒Bが、「I have visited Tokyo last month.」と話した。『私は先月

東京に行きました。』と伝えるなら現在完了形ではなく過去形を用いるべきである。そこで、A教諭は「Only you visited Tokyo last month.」と過去

形を使って会話を返した。生徒Bが東京に二度訪れたことを知つてい

たA教諭は、さらに「Oh, you have visited Tokyo twice.」と現在完了形の会話を付け加えた。この対話から『先月行った』と言うときには過去形、『二度行ったことがある』と

言うには現在完了形を使うということに気付いた生徒Bは、正しく使い分けながら会話を進め始めた。

教師は丁寧の説明してしまふことが多い。しかし、A教諭のように会話のやり取りを通して、生徒が自然に英語表現を活用できるよう支援したい。言語習得には時間がかかることを忘れてはいけない。活用しながら間違える中で上達していく。適切な

なタイミングでの称賛や支援が、英語でコミュニケーションを図る力の育成につながるっていくのである。

英語でのコミュニケーションを通してお互いを知ることが、英語科の授業の楽しみの一つである。そのためにも、充実した言語活動を目指して、授業を積み重ねていきたい。

生徒Bが、「I have visited Tokyo last month.」と話した。『私は先月東京に行きました。』と伝えるなら現在完了形ではなく過去形を用いるべきである。そこで、A教諭は「Only you visited Tokyo last month.」と過去形を使って会話を返した。生徒Bが東京に二度訪れたことを知つていたA教諭は、さらに「Oh, you have visited Tokyo twice.」と現在完了形の会話を付け加えた。この対話から『先月行った』と言うときには過去形、『二度行ったことがある』と言うには現在完了形を使うということに気付いた生徒Bは、正しく使い分けながら会話を進め始めた。



岡崎の魅力を子供たちへ

▲甲冑づくりの応援に駆けつけたグレート家康公「葵」武将隊(巽閣)

子供たちに岡崎をもっと好きになってほしい。この願いを叶えるために、岡崎の魅力を子供たちに伝える様々な取組が、岡崎市観光推進課や伝統的工芸品産業振興協会によって行われている。

今年、「岡崎城下家康公秋まつり」の一環として行われる家康行列。この行列に、子供が自分で作った甲冑を身に付けて参加する取組が行われている。厚紙を何枚も糊で貼り合わせ、塗装し、布を貼って組み立てる。完成まで十日間かかる本格的な甲冑づくりである。参加した子供たちは、自分で甲冑を作り上げる喜びを感じるとともに、家康になりきって、家康行列に参加する日を楽しみにしていた。

夏には夜空を彩る「岡崎城下家康公夏まつり花火大会」が開催される。今年で七十四回目を迎えた伝統的な大会である。市内七つの小学校では、花火師を招いた出前授業が行われた。子供は、花火作りが岡崎で盛んになった理由を学んだり、線香花火を作ったりした。夜になり、運動場から二千五百発の花火が打ち上げられると、その華やかさと迫力に、子供たちに満面の笑みがこぼれた。出前授業を通して、岡崎の空を彩ってきた花火の歴史や花火師の思いも感じ取ったようだ。

岡崎の伝統工芸品である三河仏壇に関する木彫りや彫金、蒔絵を体験する出前授業も行われた。子供たちは体験したい活動の一つを選び、作品作りに挑戦した。三河仏壇に携わる職人の技に触れ、その技術の高さを実感するよい機会となった。

本物に触れ、体験を通して感じた魅力は、子供たちのなかに今後も生き続けていくはずだ。そして、岡崎をもっと好きになることにつながっていく。私たちは、岡崎の魅力を子供たちに伝える架け橋になつていきたい。

岡崎市観光推進課の取組



▲紙で作られた甲冑



▲縫い合わせるための穴あけ作業

家康行列に参加 甲冑づくり



▲部品を貼り合わせる親子

子供たちが甲冑づくりに熱中する姿、花火を見て歓声をあげる姿をみることができよかったです。今後もこのような機会をつくっていきたいです。(観光推進課担当者)

岡崎市観光推進課の取組



▲小学校の夜空を彩る打ち上げ花火



▲花火師に教わり、線香花火作り

出前授業
打ち上げ・線香花火



▲花火の模型を手にする子供

「岡崎花火」の歴史を学びました。市内の花火師さんの講演と、グラウンドでは実際に小型煙火の打ち上げも行われ、ふるさと「岡崎」の歴史と伝統を学ぶたいへんよい機会となりました。(北野小6年)

伝統的工芸品産業振興協会の取組



金箔を竹串ではがすところが難しかったけど、予想以上にいい作品ができました。普段の学校生活ではできない経験ができてよかったです。(梅園小)



▲子供の作品(蒔絵)

出前授業
彫金・木彫り・蒔絵



▲彫刻刀で木彫り体験



●日本語初期指導教室 (プレクラス) だよ！

プレクラスへの入り口

指導員 島田 繁直

「日本語初期指導教室(プレクラス)は、どんなところですか」「どんな教材を使ったりよいですか」と、外国人児童生徒教育担当の先生や日本語教室の先生から聞かれることがある。この問いに「まずはプレクラスのホームページをご覧ください」と答えている。今年度四月から、プレクラスのホームページを開設した。そこには、プレクラスの概要や、保護者用パンフレット(日本語を含め七つの言語)、入所手続きのほか、日本語初期指導で役立つサイトを紹介したリンク集などを掲載している。このリンク集は、日本語初期指導用に文部科学省や自治体、教育機関などが無料で提供している教材のサイト一



日本語初期指導教室のホームページ

覧である。また、プレクラスで作成した教材もダウンロードできるようになっている。プレクラスのホームページが、プレクラスに通っている子供だけでなく、各学校の先生や日本語教室の子供たちにも有用な情報を提供し、日本語習得の一助となるサイトとなることを願っている。また、ここで紹介している教材は、日本語指導だけでなく、低学年児童にも有用なものが多くある。どの先生にも活用できるホームページとなるよう、今後もいろいろな情報を掲載していきたい。一度、閲覧していただければと思う。 検索「プレクラス 岡崎市」

●表彰関係

◆第76回愛知県中学校総合体育大会

○剣道男子団体の部

優勝 矢作中

○バレーボール男子

二位 矢作中

○ソフトテニス女子団体の部

二位 矢作中

○卓球女子団体の部

二位 甲山中

○剣道男子個人の部

優勝 矢作中 重富 朝陽

○柔道

男子50kg級 二位 矢作中 立野太一郎

男子55kg級 三位 六ッ美北中 田中 善

○相撲

男子個人の部 三位 常磐中 鈴木 龍

○陸上競技

女子総合 六ッ美北中

男子400m 優勝 岩津中 川添 蓮 (全国大会出場)

男子3000m 二位 矢作北中 伊藤 颯汰

男子走高跳 三位 竜南中 荻野 斗駿

女子100mH 二位 東海中 平塚 玲音

女子1500m 二位 六ッ美北中 渡辺 愛来

◆第68回全日本中学校通信陸上競技大会 (愛知県大会)

○男子400m 優勝 岩津中 川添 蓮

○男子110mH 二位 福岡中 藤田 唯央

○男子走幅跳 三位 福岡中 藤田 唯央

○男子棒高跳 三位 竜海中 岩田 結翔

○女子100mH 優勝 東海中 平塚 玲音

○女子四種競技 二位 東海中 平塚 玲音

○男子四種競技 三位 竜南中 荻野 斗駿

○女子四種競技 二位 東海中 平塚 玲音

◆令和4年度全国中学生カヌー スプリント選手権大会

○カナディアン男子1人乗りの部 二位 新香山中 平松 大輝

○カナディアン男子2人乗りの部 優勝 新香山中 水野 駈

○カナディアン男子4人乗りの部 六位 新香山中 中澤龍之介

○カヤック女子4人乗りの部 五位 新香山中 平野 杏奈

前田 芽依

◆第25回愛知県中学校選抜混成競技大会兼第49回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録突破指定大会

○男子四種競技 三位 竜南中 荻野 斗駿

○女子四種競技 二位 東海中 平塚 玲音

○カナディアン男子1人乗りの部 二位 新香山中 平松 大輝

○カナディアン男子2人乗りの部 優勝 新香山中 水野 駈

○カナディアン男子4人乗りの部 六位 新香山中 中澤龍之介

○カヤック女子4人乗りの部 五位 新香山中 平野 杏奈

前田 芽依

◆第29回愛知県中学校カヌー大会

○男女総合 優勝 新香山中

○カナディアン男子1人乗りの部 優勝 新香山中 平松 大輝

○カナディアン男子2人乗りの部 二位 新香山中 水野 駈

○カナディアン男子4人乗りの部 六位 新香山中 中澤龍之介

○カヤック女子4人乗りの部 五位 新香山中 平野 杏奈

前田 芽依

◆第64回中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会

○中学校大編成の部 金賞 翔南中

○中学校小編成の部 金賞 矢作中

◆第56回交通安全子ども自転車愛知県大会 (本大会出場)

○団体の部 三位 竜美丘小

◆第48回らくのうごどもギャラリー

入選 豊富小 加藤 護莉

第75回 岡崎市中学校市長杯総合体育大会 兼 西三河中学校選手権大会岡崎・幸田支所予選会

団体結果

種 目	性	優 勝	第2位	第3位
陸 上 競 技	男子	竜 海	翔 南	六 美 北
	女子	六 美 北	矢 作	美 川
バスケットボール	男子	甲 山	北	美 川
	女子	竜 海	矢 作 北	六 美 北
バレーボール	男子	矢 作	竜 海	矢 作 北
	女子	矢 作 北	葵	矢 作 美 川
ソフトテニス	男子	城 北	常 磐	幸 田
	女子	矢 作	幸 田 北	幸 田 常 磐
卓 球	男子	矢 作 北	幸 田	幸 田 南 岩 津
	女子	甲 山	北	幸 田 南 六 美 北
剣 道	男子	矢 作	翔 南	矢 作 北
	女子	矢 作	甲 山	福 岡 幸 田 北
ハンドボール	男子	竜 南	葵	美 川
軟式野球	男(女)	矢 作	北	岩 津 矢 作 北
ソフトボール	女子	矢 作 北	幸 田	竜 海 城 北
柔 道	男子	甲 山	竜 海	矢 作
	女子	甲 山	矢 作	矢 作 北
サッカー	男(女)	六 美 北	竜 海	甲 山 葵
弓 道	男子	幸 田 北 C	幸 田 北 A	幸 田 南 A
	女子	幸 田 北 A	幸 田 C	幸 田 北 C
水 泳	男子	矢 作	甲 山	矢 作 北
	女子	甲 山	矢 作	竜 海

個人競技 (1位のみ)

種 目	男 子			女 子		
	氏 名	校 名	氏 名	校 名	校 名	
弓 道	味岡 由将	幸 田 北	中根 愛梨	幸 田		
ソフトテニス	藤田・伊藤	城 北	鎌倉・青木	矢 作		
卓 球	笠井 嵩大	幸 田 北	吉田 詠	甲 山		
剣 道	重富 朝陽	矢 作	高橋真由子	額 田		

柔 道

階級・部門	男 子			女 子		
	氏 名	校 名	階級・部門	氏 名	校 名	
50 kg 級	立野 太郎	矢 作	40 kg 級			
55 kg 級	田中 善	六 美 北	44 kg 級	中根 乙渚	甲 山	
60 kg 級	城 陽斗	竜 海	48 kg 級	白井 杏奈	矢 作	
66 kg 級	花井 歩人	甲 山	52 kg 級	山根 明依	矢 作	
73 kg 級	森山 諒宇	矢 作	57 kg 級	木村 知代	矢 作 北	
81 kg 級	塩川 煌弥	竜 海	63 kg 級			
90 kg 級	鄒 焯宸	附 属	70 kg 級			
90kg超級			70kg超級	菅野 梓	甲 山	

陸上競技

性	種 目	氏 名	校 名	記 録
男 子	100m	渡辺 皓大	竜 海	11"55
	200m	生田 昌長	矢 作	23"82
	400m	川添 蓮	岩 津	52"63
	800m	宮田 蓮	岩 津	2'05"68
	1500m	大原 慶太	翔 南	4'24"06
	3000m	伊藤 颯汰	矢 作 北	9'20"89
	110mH	藤田 唯央	福 岡	15"84
	4×100mR	加納・生田 許田・足立	矢 作	44"92
	走 高 跳	石野 実来	美 川	1m60
	棒 高 跳	田中 汰知	六 美 北	3m00
	走 幅 跳	佐藤 太星	翔 南	5m83
	砲 丸 投	松ヶ野 万利	福 岡	10m20
	女 子	100m	弓木野 杏純	矢 作
200m		山口 桃子	六 ツ 美	27"03
800m		富澤 茉那	甲 山	2'21"41
1500m		渡辺 愛来	六 美 北	4'48"24
100mH		平塚 玲音	東 海	14"57
4×100mR		浅井・弓木野 津田・梅村	矢 作	51"82
走 高 跳		南 紗織	岩 津	1m50
走 幅 跳		近藤 愛	甲 山	5m08
砲 丸 投	新開 愛純	六 美 北	10m93	

水泳競技

種 目	男 子			女 子		
	氏 名	校 名	記 録	氏 名	校 名	記 録
50m 自由形	栗田 連太郎	城 北	25"71	片山 灯夏	北	28"64
100m 自由形	林 利晃	福 岡	56"04	加藤 美月	甲 山	1'03"50
200m 自由形	大竹 暁生	北	2'10"67	齊藤 美来	矢 作	2'30"06
400m 自由形	安井 陸翔	矢 作 北	4'30"29	中村 心音	矢 作	4'42"19
100m 平泳ぎ	小澤 壮斗	竜 南	1'10"26	岸原 くるみ	城 北	1'17"35
200m 平泳ぎ	岡田 爽良	矢 作 北	2'29"55	内山 朝陽	六 美 北	2'39"04
100m バタフライ	神取 朋生	幸 田 南	1'00"46	柴田 奈那	甲 山	1'10"96
200m バタフライ	柳楽 浩太郎	矢 作	2'15"78	秋田 莉実	新 香 山	2'34"53
100m 背泳ぎ	川崎 葉太	福 岡	1'00"88	小原 みなみ	翔 南	1'08"35
200m 背泳ぎ	加藤 一絆	甲 山	2'14"70	鈴木 里桜	南	2'27"80
200m 個人メドレー	松浦 一颯	額 田	2'27"97	柴田 歩波	翔 南	2'32"77
4×100mR	船越・柏 小澤・加藤	竜 南	3'56"39	柴田・小早川 酒部・加藤	甲 山	4'22"42
4×100m メドレーR	船越・小澤 加藤・柏	竜 南	4'18"46	柴田・加藤 小早川・酒部	甲 山	4'45"58



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

・カ
ツ
ト

男
川
小
鈴
木
絵
梨
奈

第1回 愛鳥集会 (昭和53年)

写真提供：竜美丘小学校

昭和五十三年五月、竜美丘小学校の全校児童が野鳥の森に集まり、第一回愛鳥集会を開いた。写真は集会後、木に巣箱を取り付けている様子である。

竜美丘小学校の隣に位置する「野鳥の森」は、開校二年後に完成し、以来、子供たちの自然や地域への愛着の心を育む場となってきた。森の保護と美化を目的とした児童会ボランティアが愛鳥集会の歴史の始まりであり、巣箱の取り付けや餌台の設置が継続して行われてきた。現在は、学級委員が中心となって子供主体で行う愛鳥集会となり、愛鳥クイズラリーや、科学部による鳥の説明など、異学年が交流しながら、継続している。

地域の自然そのものを教材として活用している学校は多い。それは、子供たちが地域の自然や歴史を知り、愛着をもつための大切な要素となっている。



努力を続け、矢を作り続ける小山氏。現代のニーズに応えながらも、竹矢という文化を伝承したいと思いを語る。

私たち教師も同じではないか。教育における不易と流行を見極め、一人一人の子供への適切な指導を目指したい。そのための努力は決して惜しんではならない。

ホイッスルに合わせ、先頭で泳ぎ出す。自分の記録を伸ばすためだけでなく、練習で手本を示し、上手になった仲間、「いいね」と笑顔で声をかける。

仲間と高め合った夏を越え引退する。部活動で培った子供同士の間柄は、今後の生活にも生かされるに違いない。

とホ

長目ツ



▲「ラスト、がんばれ」
小学校水泳大会(梅園小)

作り方を学ぶと共に、岡崎の歴史への関心を高め、花火師や三河仏壇に携わる職人の技術の高さに触れた子供たち。岡崎をもっと好きになるに違いない。

三年ぶりに花火大会が開催された。出前授業を受けた子供たちは、どのような思いで花火を見ていたのだろうか。



*なぜスマホの小学2年生はタブレットを使いこなせるのか?
豊岡 弘敏
¥1,600
時事通信社

心に残った一文
「学校デジタル化」やタブレット活用は、教師の仕事や役割を代替できるものではありません。

コロナ禍という逆境は、ICTの推進を加速させた。タブレットの活用で分散登校を乗り越え、今ではオンライン授業が日常的に行えるようになった。「タブレットを用意して」の指示に、筆箱やノート同様机の上に置き、アプリを起動させる。

メールで届く欠席連絡。状況によってアナログな対応が必要だ。タブレットでの意見交流。適切な教師の支援があって考えが深まる。教師の基本が求められる。

- *子どもが教育を選ぶ時代へ 野本 響子 集英社 ¥840
- *スポーツをしない子どもたち 田中 充・森田 景史 扶桑社 ¥900
- *最強脳 アンデシュ・ハンセン 新潮社 ¥900
- 竜南中学校 平 任代